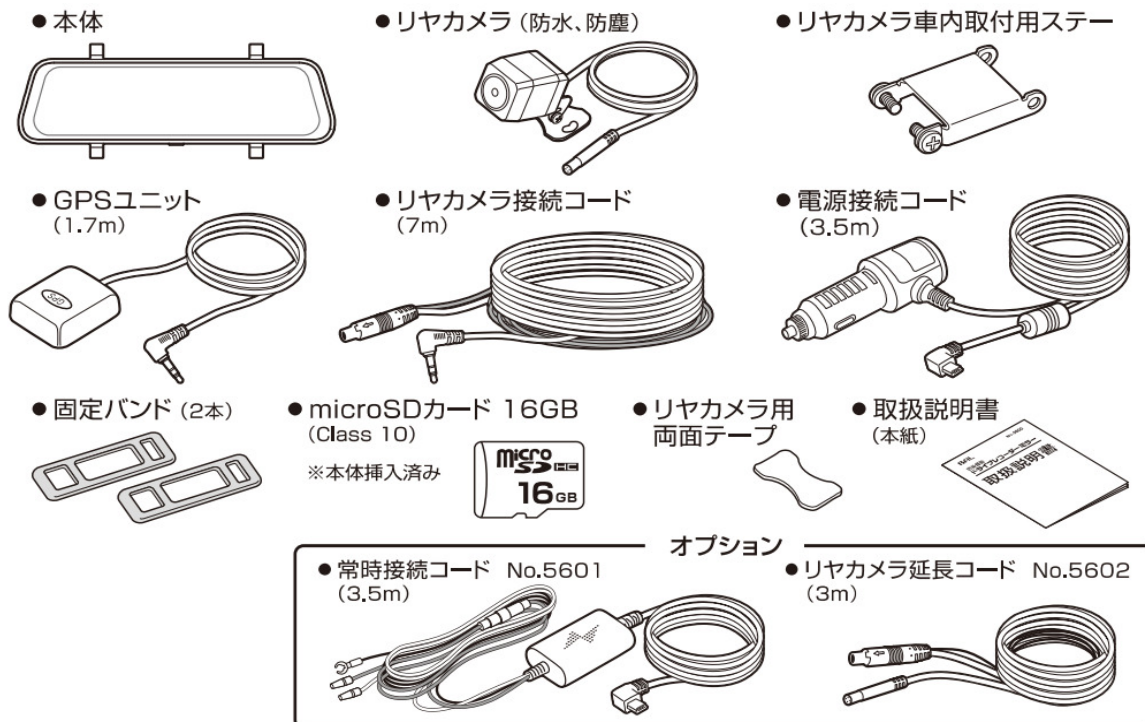


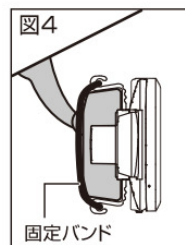
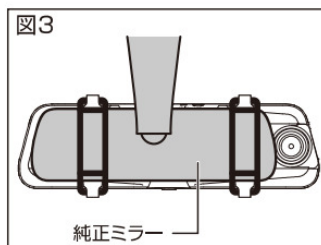
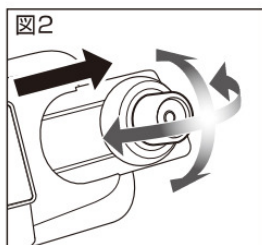
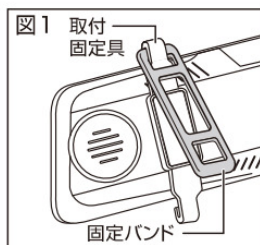
■ 梱包内容一覧

取り付けおよび接続する前に必ず以下の同梱物を確認してください。

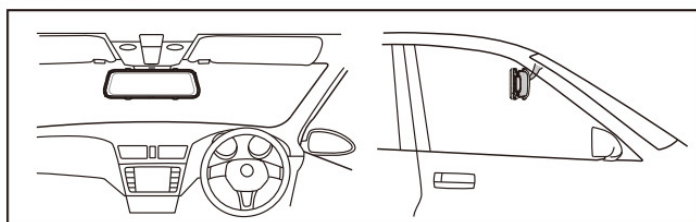


■ 取り付けかた

1. 固定バンドを取付固定具の上側に引っ掛けます。(図1)
2. フロントカメラは横方向に引き出すことができます。純正ミラーの形状など必要に応じて引き出してください。
またカメラ部分は上下左右に角度が微調節できます。(図2)
3. 純正ミラーを挟み込んで固定バンドを純正ミラーの後ろから取り付け固定具の下側に引っ掛けます。(図3)
※ 取り付けの際は本製品をしっかりと支えながら取り付けてください。
4. もう一つの固定バンドも同じ方法で取り付け、本製品の位置を調整してください。
5. 本製品が確実に固定されていることを確認してください。(図4)
※ 本体が水平を維持するように取り付けてください。
※ 本製品のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。
※ 運転者の前方視界を妨げない位置に取り付けしてください。



● 取り付けイメージ



● フロントガラスへの推奨取り付け位置

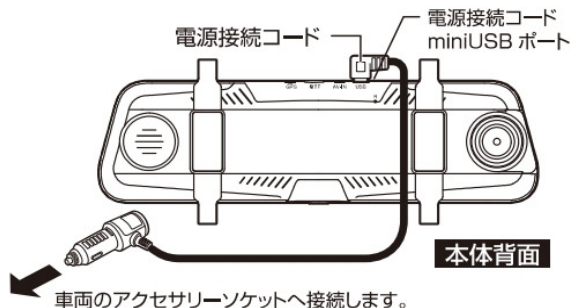


※ フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。

■ 取り付けかた

電源接続コードの取り付け

必ず車両の電源がOFFになっていることを確認してから接続作業をしてください。

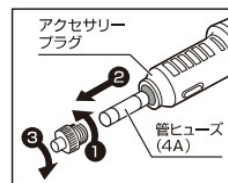


⚠ 注意

- ・電源接続コードは必ず付属品を使用してください。付属品以外を使用すると本製品もしくは車両が破損する可能性があります。
- ・安全に運転するために運転の妨げにならないようにコードを配線してください。
- ・お客様自身でコードを切断したり改造したりしないでください。本製品や車両を損傷する危険性があります。

ヒューズの交換

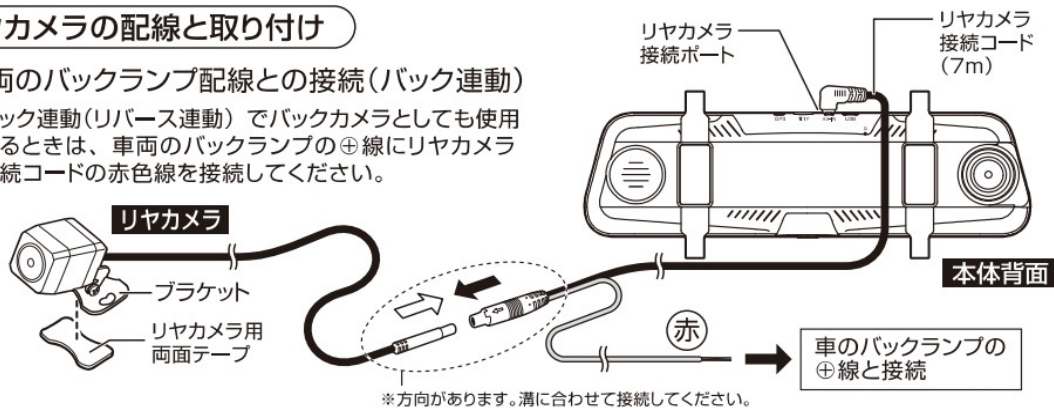
- ① アクセサリープラグ先端を反時計方向に回して外します。
- ② 次に中の管ヒューズを引き抜いて新しいヒューズ(4A)と交換してください。
- ③ アクセサリープラグの先端部分を時計方向に回して取り付けます。



リヤカメラの配線と取り付け

車両のバックランプ配線との接続(バック連動)

バック連動(リバース連動)でバックカメラとしても使用するとき、車両のバックランプの⊕線にリヤカメラ接続コードの赤色線を接続してください。



■ 取り付けかた

1. 取り付け場所が決まったら、貼り付ける面をきれいに清掃してください。
油分や汚れが付着した状態で貼り付けると走行中にリヤカメラが外れる危険性があります。
2. 両面テープ片側のフィルムを剥がして、ブラケットに貼り付けてください。
3. リヤカメラのブラケットに貼り付けた両面テープのフィルムを剥がして取り付け位置に押し付けます。
※外気温が10℃以下の低温時には十分な接着力が得られないことがありますので、低温時を避けてください。また炎天下など高温時も粘着力が得られないことがあります。
4. 液晶モニターの画像を確認しながらリヤカメラの角度を調整してください。

車外 取り付けの場合

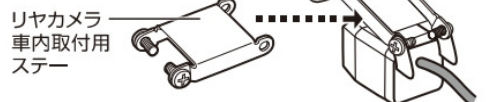
付属の両面テープでしっかり固定します。

画面を確認して角度を決めてから⊕ドライバーでネジを締めてしっかり固定します。



車内 取り付けの場合

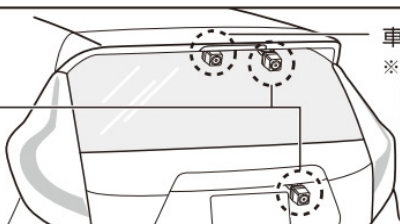
⊕ドライバーでブラケットを固定しているネジを取り外し、ブラケットとカメラの間にリヤカメラ車内取付用ステーを取り付けてください。



車外取り付け例
●リヤカメラ取り付け方向



車内取り付け例
※リヤガラスの内側に貼り付けます。



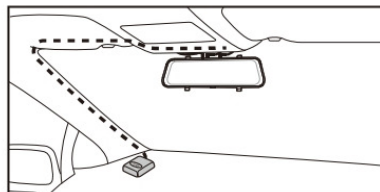
注意

- ・ブラケットにしっかりと固定されていない場合、走行中にリヤカメラが落下し、損傷する可能性があります。
- ・車内に取り付けたときに、プライバシーガラスやフィルムなどで映像が見えにくいときは、リヤカメラを車外に取り付けてください。
- ・リヤカメラを車外へ取り付けるときは、熟練した技術が必要です。必ず専門の技術者へ相談または技術者が取り付けてください。
- ・リヤカメラがナンバープレートにかからないように取り付けてください。
- ・バックドアやトランクの開閉時にコードがあたらないことを確認してください。
- ・リヤカメラを車内に取り付けたときに、撮影範囲の半分程度に車内が撮影されているときは、車外の映像が白くなることがあります。この場合はリヤカメラの取り付け位置を変更するかカメラの角度を変更し、車外が鮮明に撮影されるように調整してください。
- ・車両のラジオアンテナやテレビアンテナ、その他の電子機器の近くに取り付けるとノイズの影響を受けることがあります。この場合、影響を受けている機器から離して取り付けてください。
- ・リヤカメラ取り付け後、24時間以内に水などがつかないようにしてください。また直ぐに走行されると振動などにより外れる可能性があります。

GPSユニットの取り付け

GPSユニットを車内に取り付けるときは、ダッシュボードの上などなるべく水平な場所に取り付けてください。

1. 取り付け場所が決まったら、貼り付ける面をきれいに清掃してください。油分や汚れが付着した状態で貼り付けると走行中に外れる危険性があります。
2. GPSユニットからフィルムを剥がして、取り付け位置に押し付けます。



注意

- ・外気温が10℃以下の低温時には十分な接着力が得られないことがありますので、低温時を避けてください。また炎天下など高温時も粘着力が得られないことがあります。
- ・貼り直しは粘着テープの粘着力が低下しますのでしないでください。
- ・GPSユニットは車両のボディなどで衛星の電波が遮られない所に取り付けてください。
- ・GPSユニットを塗装したりしないでください。性能が落ちることがあります。
- ・GPSユニットは本製品から離して取り付けてください。近くに取り付けると衛星からの受信感度が低下することがあります。
- ・車両によりGPSの電波を通さないガラスが有ります。車内で受信しにくいときは車外への取り付けを試してください。

製品仕様

本体

品番	No.5600
品名	前後録画ドライブレコーダーミラー
液晶	9.7V型HD IPSディスプレイ(液晶解像度:1280×320)
記録媒体	microSDカード(8~128GB) Class10推奨
カメラ	イメージセンサー 200万画素 CMOSセンサー WDR 視野角(レンズ面角) 対角:148° / 水平:118° / 垂直:69° F値 F1.9
最大記録画角	対角:148° / 水平:118° / 垂直:69°
記録解像度	動画 1080P:1920×1080 720P:1280×720 静止画 1080P:1920×1080 有効画素数 200万画素
フレームレート	27.5fps
記録方式	常時録画(ループ録画) 緊急録画(Gセンサー / 手動) 駐車監視モード / 衝撃監視録画
ループ録画時間	1分 / 3分 / 5分
Gセンサー	オフ / 高 / 中 / 低
ファイル形式	動画 MOV 静止画 JPEG
音声録画	有り ※オン / オフ可能
映像外部入力	専用リヤカメラ入力(専用ミニプラグ)
使用電圧	DC12V / 24V
本体サイズ	約257(W)×19(D)×73(H)mm ※取付固定具除く
質量	約341g
動作温度範囲	-10℃ ~ 60℃
内蔵バッテリー	リチウムポリマー電池 500mAh
消費電力	最大12W

リヤカメラ

カメラ	イメージセンサー 200万画素 CMOSセンサー WDR 視野角(レンズ面角) 対角:110° / 水平:90° / 垂直:45°
最大記録画角	対角:110° / 水平:90° / 垂直:45°
記録解像度	動画 1080P:1920×1080 静止画 1080P:1920×1080 有効画素数 200万画素
フレームレート	25.04fps
ファイル形式	動画 MOV
使用電圧	DC5V
消費電力	0.6W
コード長	約7m
本体サイズ	約24(W)×34(D)×24(H)mm
質量	約38g ※ブラケット含む
動作温度範囲	-10℃ ~ 60℃

microSDカード

microSDHC	16GB Class10
-----------	--------------

※改良のため、予告なく仕様および外観を変更することがあります。
※この取扱説明書で使用されている画像・イラストはイメージです。
実際の製品や画像とは異なることがあります。

商品に関するお問合せは:

0120-076-074
※携帯・PHSからもご利用になれます。
(受付:平日9時~12時 / 13時~17時30分)

最大録画可能時間について

microSDカード容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
最大録画可能時間	1080P 約40分 720P 約50分	約80分 約100分	約170分 約210分	約340分 約420分	約680分 約840分

大橋産業株式会社

〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号 TEL06-6996-2631

URL <http://www.bai-ohashi.com>